

ソフトウェア アシュアランスによる ライセンス モビリティ

クラウドの採用をサポートするためのライセンス オプション

概要

世界中の組織が、クラウド コンピューティングのパワー、柔軟性、効率性の恩恵を受けています。お客様が従来の自社運用環境にサーバー アプリケーションを展開する場合、パートナー様を通じて展開するか、またはマイクロソフトのクラウド ホスティング モデルを利用して展開するか、あるいはその両方を組み合わせるかにかわらず、マイクロソフトはお客様の条件やスケジュールに応じた最適なサービスを選択できる柔軟性を提供します。

マイクロソフト ソフトウェア アシュアランスによるライセンス モビリティ

ビジネスに Infrastructure as a Service (IaaS) が採用されることが多くなるにつれ、サーバーのワークロードやアプリケーションをクラウドに移行しているお客様は、IT 戦略の一環として既存のライセンスへ投資を活用することを望んでいます。

ソフトウェア アシュアランスによるライセンス モビリティによってボリューム ラセンスのお客様は、追加のライセンスを購入することなく、有効なソフトウェア アシュアランスを含む自社運用またはクラウド内に、特定のサーバー アプリケーションを柔軟に展開することができます。その結果、お客様は、業務の優先順位の変化に対応したインフラストラクチャを低価格でまた柔軟に利用することができます。

この新しいソフトウェア アシュアランスの特典により、お客様がマイクロソフト クライアント アクセス ライセンス (CAL) を新たに購入する必要はありません。また、モビリティに関連する料金も発生しません。

ソフトウェア アシュアランスによるライセンス モビリティで利用できる製品

特定のマイクロソフト サーバー製品は、ソフトウェア アシュアランスによるライセンス モビリティにより柔軟性が向上します。お客様は、有効なソフトウェア アシュアランスを含むアプリケーション サーバー ライセンスを割り当てることにより、サーバー インスタンスを Microsoft Azure またはソフトウェア アシュアランスによるライセンス モビリティ パートナーのデータ センターを通して共有ハードウェア上で実行することができます。ハードウェアは共有していますが、それらのサーバー インスタンス(仮想マシン)は個々のお客様専用のものであり、他のお客様と共有することはできません。

対象サーバー アプリケーションの一覧には、Microsoft SQL Server データベース ソフトウェア、Microsoft Exchange Server、Microsoft SharePoint Server、Microsoft Skype for Business Server、Microsoft System Center Server、および Microsoft Dynamics 365 Server for Customer Service and Sales applications 等が含まれています。Windows Server オペレーティング システムのライセンスは、お客様に適用されるライセンス条項によって、引き続きお客様の自社運用のハードウェアに割り当てられます。その他の情報および詳細な利用可能な製品一覧は、[製品条項](#)をご覧ください。

ライセンスモビリティ のメリット

柔軟性

- ▶ さまざまなクラウド 環境にワークロードを展開できる柔軟性が向上します。
- ▶ お客様は、ライセンスを追加することなく、アプリケーション サーバーのワークロードを自社運用環境から認定モビリティパートナーの IaaS または Microsoft Azure にいつでも移動できます。

コスト効率

- ▶ クラウドへの展開時に既存のライセンスへの投資を活用できます。
- ▶ 低価格のインフラストラクチャ プラットフォームおよび Microsoft Azure または認定モビリティパートナー(サービスプロバイダー)によるその他の付加価値サービスを利用する。
- ▶ ソフトウェア アシュアランスのその他の特典により、価値を引き出します。

管理性

- ▶ 既存の Enterprise Agreement (EA) または Open プログラムを通じて、クラウド ホスティングを簡単に採用できます。
- ▶ ホストされるアプリケーション サーバーのワークロードに対する、ライセンスまたは契約の条件を追加する必要はありません。

利用開始について

詳細については、担当のマイクロソフト アカウントマネージャまたはリセラーまでお問い合わせいただくか、www.microsoft.com/ja-jp/licensing/licensing-programs/software-assurance-license-mobility をご覧ください。

Microsoft Dynamics ERP

Microsoft Dynamics ERP 製品 (Dynamics AX、GP、NAV、SL) はマイクロソフト ボリューム ライセンスでは提供されず、オンラインでライセンスを取得することもできません。ただし、共有環境に展開する場合には、ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティと同様の使用が可能になるモビリティ ルールがありません。

パートナーからの支援

チャンネル パートナー

- ライセンスの確認
- 導入計画の策定
- ソフトウェア アシユアランスの更新

認定ライセンス モビリティ

パートナー:

- 導入を実行
- コスト分析

展開手順の概要

ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティを利用して展開するには、次の手順を実行します。

1. ライセンスが資格要件を満たしていることを確認します。

Microsoft Azure または認定モビリティ パートナーを利用して展開する対象製品と必要なライセンス数を決定します。通常は、組織の IT 部門または調達部門がマイクロソフト ライセンス契約の詳細を確認できます。利用可能な製品一覧は、[製品条項](#)をごらんください。

- ▶ 対象製品のすべてのライセンスについて、有効なソフトウェア アシユアランスが必要です。
- ▶ 該当する場合は、有効なソフトウェア アシユアランスを含む適切なクライアント アクセス ライセンス (CAL) を維持する必要があります。

2. ソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ パートナーを選択します。

Microsoft Azure または資格要件を満たすサービス プロバイダーをソフトウェア アシユアランスによるライセンス モビリティ パートナーとして選択できます。パートナーの一覧は <https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/software-assurance-license-mobility.aspx> にてご確認いただけます。組織の目標や導入計画に最適なパートナーを選択してください。

3. 確認フォームに記入します。

お客様のライセンス確認フォームは、<https://www.microsoft.com/ja-jp/Licensing/licensing-programs/software-assurance-license-mobility.aspx> よりダウンロードしていただけます。

確認フォームには、契約番号、加入契約番号、ソフトウェア アシユアランスの満了日を記入する必要があります。必要な情報を事前にご用意ください。確認フォームの記入に関するガイダンスについては、[ライセンス モビリティ 確認ガイド](#)をご覧ください。

製品の追加、ソフトウェア アシユアランスの更新、認定モビリティ パートナーの変更を行う場合は、フォームを新たに提出していただく必要があります。

4. 確認フォームをマイクロソフトに提出します。

マイクロソフト チャンネル パートナーがフォームへの記入内容が適切であることを確認し、お客様に代わってマイクロソフトに提出します。

5. ソリューションを展開します。

認定モビリティ パートナーと協力して、サーバー ファームにソリューションを展開します。お客様がライセンス モビリティの資格要件を満たしていることをマイクロソフトが確認する間にソリューションを展開できます。